

千葉県立東金特別支援学校 “私は、できる。”「オリ・パラ」推進隊の挑戦！

1 はじめに

本校は平成 29 年度からオリンピック・パラリンピック教育（以下、オリ・パラ教育）を推進して校内で進めてきた。その実践が認められ、平成 30 年度から千葉県教育委員会より「オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業」の指定を受け、今年で指定 4 年目となる。

オリ・パラ教育推進にあたり、児童生徒主体の「オリ・パラ」推進隊（以下、推進隊）を平成 30 年度に立ち上げた。これは、校内はもとより、地域にオリンピック・パラリンピックやパラスポーツを広めることを目的に結成された児童生徒主体の組織である。

現在は小学部 6 名、中学部 11 名、高等部 11 名の計 28 名が所属している。

推進隊の地域への活動として、地域の方を対象に障害者スポーツの体験会（「オリ・パラ」サマーセッション in 東金）の開催や、地域の小・中学校に推進隊が訪問し、講師としてボッチャの出前授業（「オリ・パラ」キャラバン）を行っている。

2 「I'm POSSIBLE」教材との出会い。そして、推進隊の実践へ

推進隊は、平成 30 年度の「オリ・パラ」サマーセッション in 東金で招いたマセソン美季氏が紹介した国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」に出会い、この教材から身の回りの「できない」を「できる」に変えていく工夫について考える大切さを学んだ。

「障害があってもみんなと同じようにできることを見せたい」「オリジナルボッチャ動画を作成し小中学生に見せたい」等強い意志やアイデアを出す姿が見られた。

推進隊は 8 月に行っている地域の方を対象とした障害者スポーツ体験会である「オリ・パラ」サマーセッションや小中学校に訪問し、ボッチャの出前授業を行う「オリ・パラ」キャラバンをとおして「I'm POSSIBLE」から受けたことを活かすこととした。

推進隊は、毎日休み時間に小・中学生に伝わる説明の仕方を、自分の言葉で伝えることができるように考え、ボッチャの審判練習やオリジナルボッチャ動画を作成した。

当日は、自分なりの言葉やオリジナルボッチャ動画等で小中学生に気持ちを伝え、練習の成果を発揮することができた。小中学生からは、「今までオリンピックしか見なかったけどパラリンピックに興味をもった」「家族にボッチャやパラリンピックの魅力を教えたい」等、パラリンピックの見方の変化、興味関心の関心度の向上を伺うことができた。また、「推進隊を見て障害のある人ない人の違いはあまりないと感じた」「どんな人にでも平等に接したい」等、障害者に対する理解の向上が感じられた。さらに、「推進隊の話し方や紹介動画が分かりやすい」等の推進隊の取り組む姿に対する感想も多くいただいた。

パラリンピック教育はリバースエデュケーション（逆向きの教育）と称されている。今回の「オリ・パラ」キャラバンで学んだり、感じたりした児童生徒が家庭で障害について話題にする等、保護者とともに考える機会になったと相手校より報告をいただいた。「オリ・パラ」キャラバンでの実践をとおして、推進隊の努力が認められ、パラリンピック教育を体現した取組が評価される形となった。

3 東京 2020 パラリンピック閉会式で I'm POSSIBLE アワード開催国特別賞 受賞へ

I'm POSSIBLE 教材からヒントを経た推進隊の実践を、国際パラリンピック委員会主催の I'm POSSIBLE アワードに応募した。全国 177 校の応募の中から、『I'm POSSIBLE』から学んだことを地域コミュニティの課題解決に活かし、優れた取組を行った日本の学校として本校が I'm POSSIBLE アワード開催国特別賞を受賞した。

受賞は東京 2020 パラリンピック閉会式内で行われ、「オリ・パラ」推進隊隊長の生徒と担当教員で表彰を受けた。

4 広報・報道実績

○報道機関

NHK、NHK E テレ 東京 2020 パラリンピック閉会式 (9/5) 放送

NHK 首都圏ネットワーク(9/13)放送

チバテレビ ニュースちば 600、ニュースちば 930 (9/13) 放送

NHKweb ニュース(9/6,13)掲載 千葉日報(9/6,14)掲載

産経新聞(9/7)掲載 東京新聞(9/14)掲載

読売新聞(9/15)掲載 朝日新聞(9/21)掲載

○校内・その他

本校発行 学校だより (特別号) (9/17 発行)

オリ・パラ通信 (第 27 号) (10/1 発行)

千葉県教育委員会 HP「教育フォトニュース」(9/30) 掲載

(<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/seisaku/kouhou/photo-2021/210913.html>)

千葉県教育委員会「県教委ニュース」Vol.278(10月号)

東金市広報「とうがね」(9/15号)(10/15号)掲載

5 取組への反響

I'm POSSIBLE アワード開催国特別賞の受賞を機に、評価された活動(「オリ・パラ」キャラバンや「オリ・パラ」サマーセッション等)について地域の方に多く知っていただいた。また、推進隊の存在も一層認知が高まりと同時に、パラスポーツに対する注目も高まっている。

また、推進隊の活動を受け、11月23日(火・祝)に千葉ポートアリーナで行われる「パラスポーツフェスタちば2021」へのパラスポーツ体験会コーナーの補助役員としての協力依頼を受け、参加する予定である。

6 今後の方向性

東京 2020 大会が閉幕し、オリ・パラ教育はここからがスタートである。本校の推進隊は、東京 2020 大会後も地域において「オリ・パラ」キャラバンや「オリ・パラ」サマーセッションを中心にパラスポーツの推進を図ることはもとより、パラスポーツをとおした障害者理解の促進、共生社会の実現に向けて取り組んでいく。また、パラスポーツを中心に地域に推進していく目的として、これまで活動してきた「オリ・パラ」推進隊の名称をパラスポ推進隊に変更(10月から)して、さらなる発展を目指して活動を開始している。

ボッチャやゴールボール等の総称である「パラスポーツ」がいつしか、「スポーツ」として認知され、また、地域の方に気軽に組み入るものとして、パラスポ推進隊を中心に展開していきたい。

そして、本校の児童生徒たちが、パラスポーツをとおして、生涯スポーツとしてつながっていき、“する”楽しさ、“見る”楽しさ、また、“支える”大切さをさらに深く学んで学習につなげていけるようにしていきたい。

TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES

I'm POSSIBLE AWARD

EXCELLENCE HOST COUNTRY

東京 2020 パラリンピック
I'm POSSIBLE AWARD
開催国特別賞受賞

『I'm POSSIBLE』から学んだことを地域コミュニティの課題解決に活かし、優れた取り組みを行った日本の学校



受賞したソメイティのぬいぐるみと銀の皿



東京 2020 パラリンピック閉会式
受賞の様子



ポッチャオリジナル動画の作成



地域イベントへの参加
ポッチャ体験会を地域イベント内で展開

「千葉を応援」2020、
制作 三神めぐみ
「オリ・パラ」推進隊

1. オリパラ オリパラ 2020 東京！
私たちの住んでいる 千葉県の
オリンピックの競技を、言ってみよう
歴史ある種目 レスリング
貴族のスポーツ フェンシング
一客の波つめ！ サーフイング
韓国の特産技 テコンドー！
オリパラ オリパラ みんなで応援しよう！

2. オリパラ オリパラ 2020 東京！
私たちの住んでいる 千葉県の
パラリンピックの競技を、言ってみよう
応援静かに！ ゴールボール
足のボクシング パラテコンドー！
車いすフェンシング パラの輪士道
お尻を履いてアタック シッティングバレー！
オリパラ オリパラ みんなで応援しよう！
オリパラ オリパラ 2020 東京！

千葉県開催競技
オリジナルソングの作成



地域に発信! 「オリ・パラ」推進隊!!



「オリ・パラ」推進隊

パラリンピアンへの講演に感銘を受けた児童生徒たちの『I'm POSSIBLE』を通して学びたい」との声から取組がスタート。2018年に「オリ・パラ」推進隊を結成し、学校内にとどまらず、周囲の小中学校・地域に対して パラスポーツの楽しさを伝える創造的な取組を数多く実施。周りの人々の障害に対する意識を変えていったことが国際パラリンピック委員会より評価を受けた。



「オリ・パラ」キャラバン
小・中学校へ訪問しポッチャの出前授業



「オリ・パラ」サマーセッション in 東金
地域の方対象のパラスポーツ体験会実施

「オリ・パラ」推進隊・・・2018年に結成。校内、地域にオリンピック・パラリンピックやパラスポーツを広めることを目的とした児童生徒からなる主体の組織。東京 2020 大会後は、**パラスポーツ推進隊**として改名し、校内、地域にパラスポーツの魅力をさらに広め、共生社会の実現に向けてムーブメントを起こしていく。

-自立を例として かがやく瞳 光る絆
千葉県立東金特別支援学校



熊谷知事(左から4人目)と宮塚教育長(同5人目)を表敬訪問した木更津市立清見台小と
県立東金特別支援学校の校長、教諭ら。児童生徒はオンラインで参加(13日、県庁)



パラ教育・開催国特別賞 東金特支校 知事に報告

「競技の魅力紹介」評価

国際パラリンピック委員会(IPC)の主催する「アムボッシュアル(AmBosshel)アワード」で、パラ教育に取り組む県立東金特別支援学校(唐津和志校長)が、開催国特別賞を受賞した。唐津校長は13日、県庁を訪れ、熊谷俊人知事と宮塚昌子教育長に、受賞したプレートを持ち込み、パラスポーツの魅力を地域に紹介する活動が評価されたと報告。オンラインで報告会に参加した同校、オリ・パラ推進隊リーダーで高等部3年の松野七海さんは「地域の人にパラスポーツの良さを広めたい」と意欲を示した。

報告会は、開催国最優秀と合同で行われ、2スタ賞を受賞した木更津市清見台小を真内で独占した見台小学校(高橋祥枝校長)も、熊谷知事と宮塚教育

育長がたたえた。

特別賞を受賞した東金特別支援学校は、児童生徒でオリ・パラ推進隊を組織し競技の魅力をアピールする歌やクイズを自作。千葉市・常盤メッセが競技会場になった「ポッチャ」では、地域の小中学校に出向いて「出前授業」を行うなどした。コロナ禍でも競技を楽しむよう、オンラインポッチャも企画。対戦チームが異なる会場にいても、ポッチャの魅力を感じられるルールを考案した。担当した左川又彦教諭らは「(これまでの活動は)本校の大切な宝物。受賞は本意にうれしい」などと述べ、活動に取り組んだ児童生徒の姿勢を評価した。熊谷知事は「次代を担う

共生社会へ理解促す教育実践

パラ閉会式で2校表彰



車イスに乗ったパラアスリートと視覚障害児の清見台小学校の子供たち。13日、木更津市、清見台小学校でポッチャのルールを教えるオリ・パラ推進隊のメンバー。左は同校校長(右は同校教諭)。



共生社会への理解を促す国際パラリンピック委員会公設の教育プログラム「THE POSSIBLE(アムボッシュアル)」に参加した全国17校の中から、木更津市立清見台小学校が「開催国最優秀賞」、県立東金特別支援学校が「開催国特別賞」を受賞した。障害者への思い込みを先式で表彰された。「今後も入親ととらわれず共生、共生社会への理解が進む社会への理解を促す教育、ように活動したい」と喜ぶ。2校の関係者は「最も優れた取り組みとして、東京パラリンピックの開会式で評価された清見台小で

選手招き交流 ■ パラスポーツ魅力発信

子どもたちが(パラ開催を契機に)新しい考えを持つて共生社会を築いていくことが重要。開催員として画期的取り組みをほめてほしい」と感謝する」と賞状を贈った。

は、パラアスリートと学校に招いて交流したり、実際に車イスに乗ったりと体験型の授業を行った。その体験をもとに、子どもたちが「自分の家や地域のバリアフリーについて話し合っ」て、解決策を出し合った活動などが評価された。8年生の渡辺千代さんは「うれしです。学んだことをこれからも生かして、車イスや体が不自由な人たちが快適に暮らせるように考えていきたい」と笑顔を見せた。

東金特別支援学校では、授業でパラリンピックの講義を聞いて、生徒たちが興味を持ったことが取り組まのきっかけ。生徒たちで「オリ・パラ推進隊」をつくり、周辺の小中学校や地域の子どもたちにポッチャなどを教えるなど、一筋にブレ

R3.9.14 千葉日報

R3.9.21 朝日新聞

市町村	人数	白井市	749
千葉市	16685	富里市	812
市川市	10244	南房総市	234
船橋市	12307	匝瑳市	223
鎌倉市	965	香取市	498
木更津市	1668	山武市	503
松戸市	8761	いすみ市	296
野田市	1885	大網白里市	461
茂原市	778	酒々井町	247
市原市	1784	栄町	187
市原市	1784	袖浦市	50

※朝日新聞社遠隔で再帰集む空



みんなで取り組む
千葉の教育

県教委 NEWS

〔発行者〕千葉県教育庁企画管理部教育政策課
〒260-8662 千葉市中央区市場町 1-1
電話 043-223-4015

Vol.278
10月号

令和3年10月発行

アイムポッシブル

I'mPOSSIBLE アワード 県内2校が受賞

東京 2020 パラリンピック閉会式において、共生社会実現につながるパラリンピック教育の実践を行った学校に対して、I'mPOSSIBLE アワード*の表彰が行われました。開催国最優秀賞を木更津市立清見台小学校が、開催国特別賞を県立東金特別支援学校が受賞しました。

*I'mPOSSIBLE アワード：パラリンピック・ムーブメントを通して、インクルーシブな世界の実現に多大な功績を収めた学校とパラリンピアンに贈呈される賞。この賞は、国際パラリンピック委員会が設立し、日本財団パラリンピックサポートセンターが支援を行っている。なお、『I'mPOSSIBLE』には、「不可能 (Impossible) だと思えたことも、ちょっと考えて工夫すればできるようになる (I'm possible)」という、パラリンピックの選手たちが体現するメッセージが込められている。



木更津市立清見台小学校の取り組み

バリアフリーについてより具体的・現実的な解決方法を考えるためパラリンピアンと意見交換をしました。



県立東金特別支援学校の取り組み

「オリ・パラ」推進隊は小中学生にボッチャのアドバイスをするなどパラスポーツの楽しさを伝えました。



両校は9月13日(月)にウェブ会議システムを活用して熊谷知事と富塚教育長に表敬訪問を行いました。



木更津市立清見台小学校児童とのオンライン懇談



県立東金特別支援学校生徒とのオンライン懇談

国際パラリンピック委員会公認教材

『I'mPOSSIBLE (アイムポッシブル)』を活用しよう！



パラリンピックの国際的発展を担うアギトス財団が開発した、共生社会への気づきを子どもたちに促す教材です。

座学と実技を含む全 15 授業分のユニットで構成され、小学生版、中学生・高校生版の2タイプの教材パッケージが昨年度までに各学校に送付済みです(一部 web のみ公開)。



記念のシルバープレートと大会マスコットのぬいぐるみ

お問い合わせ先：教育庁企画管理部教育政策課教育立県推進室 043-223-4177



学校だより



特別号
 令和3年9月17日

「I'm POSSIBLE (タイムポッシブル) フォワード」

開催特別賞 受賞！！



受賞したソメイチーのぬいぐるみと賞の皿

9月5日(日) 東京 2020 パラリンピック閉会式にて、本校が「I'm POSSIBLE (タイムポッシブル) フォワード」開催特別賞をいただきました。これは、国際パラリンピック委員会がパラリンピック教育の一環として開発した学習教材「I'm POSSIBLE」を活用し、地域の課題解決に貢献した優れた学校に贈られるものです。

「誕生！！オリ・パラ」推進隊-

本校では、県教育委員会の指定を受け、2018年より児童生徒主体の組織「オリ・パラ」推進隊(以下、推進隊)を結成し、校内はもとより、地域にオリリンピック・パラリンピックやパラスポーツを広げる取組を行ってきました。主に、地域の小・中学校に訪問して、推進隊がボッチャを中心に出前授業を行い、小・中学生に教えたり、一緒に取り組んだりしてボッチャの魅力を伝えるとともに、障害者理解の促進にも努めてきました。

また、毎年8月にパラスポーツ体験会を本校主催で実施し、推進隊が準備や運営に取り組み、地域を含めた様々な方(幼児から大学生、また留学生や高齢者等若者男女、障害のあるなしに関わらず)と一緒にパラスポーツを楽しんでいただいております。このような活動を通して、共生社会の実現につながるよう努力してまいりました。これらの取組が「I'm POSSIBLE フォワード」を主催する国際パラリンピック委員会から評価を受け、今回の受賞につながりました。



受賞時の国立競技場内の様子



受賞して感謝の言葉を伝える「オリ・パラ」推進隊

「関わってくださったすべての皆様へ」

今回の賞は、推進隊の活躍はもとより、全校児童生徒、また保護者、そして東金市をはじめとする地域の方々、関係機関の多大なる御理解、御協力があったのものだと思います。これまで関わってくださった全ての方のお力添えがあったからこそ受賞です。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。



熊谷県知事への表敬訪問(推進隊はオンラインで対談)



熊谷県知事ヒコシラインへの対談に緊張する推進隊、どんな話を交わすのか、ドキドキでした！質問されても答えられるように準備をたくさんしました!!

「東金レガシー」に向けて。

東京 2020 大会が終了し、これからが共生社会の実現に向けた本場のスタートとなります。これまで積み重ねてきた活動を継承し、チーム東金一丸となって創意工夫をこらして地域に発信してまいります。今後とも御理解御協力のもと、よろしくお願いたします。

(文責：古川文彦)



熊谷県知事への表敬訪問